

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600168		
法人名	医療法人 竜門堂		
事業所名	竜問堂 グループホーム あったか荘		
所在地	佐賀県武雄市山内町大字三間坂甲13842番地12		
自己評価作成日	平成 31年 1月 19日	評価結果市町村受理日	平成31年4月2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	-----------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成 31年 2月 4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の健康管理に努め、個々の残存機能を生かし安心して穏やかに楽しい生活が送れるように支援します。医療との連携や職員間のコミュニケーションを図り、ご家族も安心され、いつでも気軽に訪問出来るような雰囲気づくりを心掛けている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

JR駅近くの住宅街の一角に立地し、ホーム周辺は田園風景が広がるなど、自然豊かな環境にある。天井の高い広々とした共用スペースがあり、天気の良い日には太陽の日差しを心地よく感じとることができる。「一緒に、楽しく、のんびりと」という理念のもと、入居者のペースに合わせてゆっくりと過ごせる環境づくりに努めている。食事の準備を一緒に行ったり、出来る限りトイレでの排泄を支援するなど、心身機能維持のための取り組みがなされている。経営母体が医療機関ということもあり、訪問看護によるサービスの提供や24時間の連絡体制の確保など、医療との連携が図れており、入居者および家族の安心に繋がっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
	東ユニット	西ユニット		東ユニット	西ユニット
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	○
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	○
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	○
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	○
60 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	○	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	○			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を掲げ、荘内に掲示して毎朝申し送り時に職員で唱和している。入居者様が穏やかに生活出来るよう実践している。	運営理念を掲げ、荘内に掲示して毎朝申し送り時に職員で唱和している。入居者様が穏やかに生活出来るよう実践している。	理念を掲示し、毎朝の申し送り時に職員で唱和している。また、法人全体で行う接遇委員会で定めた事業所毎の月間目標を併せて掲示し、職員の意識統一を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の公民館掃除・除草作業・ゴミ収集所清掃など参加している。また荘の行事や避難訓練など案内をして地域の方に参加して頂き交流している。	地域の公民館掃除・除草作業・ゴミ収集所清掃など参加している。また荘の行事や避難訓練など案内をして地域の方に参加して頂き交流している。	地域の一員として、公民館清掃や除草作業等に参加している。夏祭りをはじめ行事を開催する際は、地域住民の参加を募り交流している。小学生やボランティアの訪問もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議・避難訓練・行事の時に認知症の人の理解や支援方法を地域の方に向けて活かしている。	運営推進会議・避難訓練・行事の時に認知症の人の理解や支援方法を地域の方に向けて活かしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族・地域・行政の方に参加して頂き入居者様の体調や状況に応じたサービスの取り組みを報告している。会議では意見や地域の情報をお聞きしてサービスの向上に活かしている。	ご家族・地域・行政の方に参加して頂き入居者様の体調や状況に応じたサービスの取り組みを報告している。会議では意見や地域の情報をお聞きしてサービスの向上に活かしている。	二ヶ月毎に開催され、民生委員、区の議員、行政職員、地区消防団長、家族代表が参加している。意見が出やすい雰囲気づくりに努め、会議録は全家族に郵送している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市役所の福祉課担当者は運営推進会議に参加され行政からの情報や意見を頂いている。生活保護担当者の定期的訪問や電話での情報交換を行いながら協力関係を築いている。	市役所の福祉課担当者は運営推進会議に参加され行政からの情報や意見を頂いている。生活保護担当者の定期的訪問や電話での情報交換を行いながら協力関係を築いている。	市福祉課職員とは日頃から相談しやすい関係性が構築できており、連携を図っている。市職員からホームの料金体系や空き状況について問い合わせもある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に対してはミーティングや勉強会などで理解・周知している。見守り、付き添い、関わりにより、身体拘束しないケアに取り組んでいる。玄関のタッチセンサーについては事前にご家族に説明し理解して頂いている。	身体拘束に対してはミーティングや勉強会などで理解・周知している。見守り、付き添い、関わりにより、身体拘束しないケアに取り組んでいる。玄関のタッチセンサーについては事前にご家族に説明し理解して頂いている。	約三ヶ月毎に身体拘束廃止に関する勉強会を開催し、法人全体での身体拘束廃止・虐待防止の研修会に参加する事で、管理者及び全職員の身体拘束廃止に対する理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止は研修・勉強会などで理解していると思います。心理的虐待(声掛けが出来てない部分がある)勉強会や指導により個々で意識を高める必要性がある。	虐待防止は研修・勉強会などで理解していると思います。心理的虐待(声掛けが出来てない部分がある)勉強会や指導により個々で意識を高める必要性がある。		

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護の制度はほぼ理解出来ていると思うが、学ぶ機会がある時は参加し、理解を深める必要がある。	権利擁護の制度はほぼ理解出来ていると思うが、学ぶ機会がある時は参加し、理解を深める必要がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては入居時に施設長が家族様に説明して理解、納得して署名、捺印を頂いている。	契約に関しては入居時に施設長が家族様に説明して理解、納得して署名、捺印を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様の面会時や運営推進会議で要望をお聞きして出来ることは運営に反映させている。	家族様の面会時や運営推進会議で要望をお聞きして出来ることは運営に反映させている。	主にケアプラン作成時、面会時、運営推進会議時に意見を聞き、運営に反映できるよう努めている。行事後に家族のみで意見交換が行える機会を検討している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案は全体のミーティング時やその都度聞いて、代表者に説明して反映できるようにしている。	職員の意見や提案は全体のミーティング時やその都度聞いて、反映できるようにしている。	管理者に対し提案や相談がしやすい雰囲気があり、管理者が夜勤時に個別に聞き取りを行う事もある。集約した意見は管理者が代表者等に相談し、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者に勤務状況や個々の努力・実績を報告している。法人内での社員旅行・ボウリング・ミニバレー大会などリフレッシュ出来る環境に努めている。	代表者に勤務状況や個々の努力・実績を報告している。法人内での社員旅行・ボウリング・ミニバレー大会などリフレッシュ出来る環境に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は資格取得・研修参加に補助金支援を行い、法人全体の勉強会や研修に参加して個人の意識を高めるよう進めている。	代表者は資格取得・研修参加に補助金支援を行い、法人全体の勉強会や研修に参加して個人の意識を高めるよう進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームの研修会に参加して他の施設の方と交流を持ち、取り組みなど尋ねて、サービスの質を向上させるように努力している。	グループホームの研修会に参加して他の施設の方と交流を持ち、取り組みなど尋ねて、サービスの質を向上させるように努力している。		

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時ご本人にお尋ねし、またご自分で訴える事が出来ない方はご家族にお聞きして安心して生活されるような関係づくりに努めている。	入居時ご本人にお尋ねし、またご自分で訴える事が出来ない方はご家族にお聞きして安心して生活されるような関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時ご家族が困っていることや要望、ご自宅での生活などお聞きして、安心して生活出来るよう支援し、面会時、生活状況を報告して関係づくりに努めている。	入居時ご家族が困っていることや要望、ご自宅での生活などお聞きして、安心して生活出来るよう支援し、面会時、生活状況を報告して関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネジャー、主治医、管理者がご本人、ご家族に在宅状況や認知症状等をお聞きして、入居が望ましいか、他のサービスで在宅が可能か見極めている。	担当ケアマネジャー、主治医、管理者がご本人、ご家族に在宅状況や認知症状等をお聞きして、入居が望ましいか、他のサービスで在宅が可能か見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様は人生の先輩であり、色々な事をお尋ねして参考にしている。出来る事を一緒にしながら共に生活している関係を築いている。	入居者様は人生の先輩であり、色々な事をお尋ねして参考にしている。出来る事を一緒にしながら共に生活している関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時、生活状況や体調を報告している。いつも気軽に面会出来る事、遠くからお見えになっているご家族様もゆっくり居室等でお話されるようにしている。	ご家族の面会時、生活状況や体調を報告している。いつも気軽に面会出来る事、遠くからお見えになっているご家族様もゆっくり居室等でお話されるようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や親戚の方など馴染みの人がいつでも気軽に面会出来るような雰囲気と自宅や親戚、馴染みの場所に出掛けられるよう支援している。	友人や親戚の方など馴染みの人がいつでも気軽に面会出来るような雰囲気と自宅や親戚、馴染みの場所に出掛けられるよう支援している。	入居者の重度化や環境面の課題により、外出が困難になってきているので、家族や地域住民が、気軽に訪問してもらえるように支援し、交流ができています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者様同士や一人ひとりの状態に合った場所で孤立されないように配慮している。レクリエーションなどは一緒に輪に入られ参加されている。	気の合う利用者様同士やトラブルにならないように利用者様の関係を把握して、その時の状況で関わりが上手くいくように配慮支援している。		

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院退去になられた時は病室を訪問して声掛けし、ご家族にお会いした時は経過などお話して相談や支援に努めている。	入院退去になられた時は病室を訪問して声掛けし、ご家族にお会いした時は経過などお話して相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。訴え時はその状況に応じて説明している。思いを受け入れる事が困難である場合はご家族に相談しながら支援している。	一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。訴え時はその状況に応じて説明している。思いを受け入れる事が困難である場合はご家族に相談しながら支援している。	自ら要望や意向を訴える事が困難な入居者に対しては、日頃の言動や表情を見ながら、思いを汲み取れるよう努めている。また、生活歴等について家族から聞き取りを行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご本人やご家族、ケアマネジャーから生活歴や暮らし方、生活環境をお聞きして把握に努めている。	入居時にご本人やご家族、ケアマネジャーから生活歴や暮らし方、生活環境をお聞きして把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの心身状態に合わせ、出来る事をして頂き、出来ない部分を手助けして毎日の過ごし方を把握している。	一人ひとりの心身状態に合わせ、出来る事をして頂き、出来ない部分を手助けして毎日の過ごし方を把握している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族の意向をお聞きし、主治医・意見を聞き、担当者会議を開催して職員の意見を反映して介護計画作成して、ご本人・ご家族に説明して署名・捺印を頂いている。	ご本人・ご家族の意向をお聞きし、主治医・意見を聞き、担当者会議を開催して職員の意見を反映して介護計画作成して、ご本人・ご家族に説明して署名・捺印を頂いている。	計画作成担当者が本人や家族に意向を聞き取った上で、介護計画の原案を作成し、サービス担当者会議時に職員及び主治医に意見を求めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の健康チェックや生活状況を介護記録に記入して気づきなど職員間で情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。	毎日の健康チェックや生活状況を介護記録に記入して気づきなど職員間で情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の希望により自宅へ外出・外泊・買い物に出掛けられている。ご家族からの相談にも柔軟に対応している。	職員と一緒に桜の花や個人宅のバラ園に出掛けられ、感激される。再度、見学希望されたが、出来なかった。出来るだけ計画を立てて実行させたい。		

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域役員、消防団の会議・訓練参加により施設や入居者様の理解をして頂く。小学生の慰問や中学生の体験学習を受け入れ地域と関わりを持ち安全でゆとりした生活ができるよう支援している。	地域役員、消防団の会議・訓練参加により施設や入居者様の理解をして頂く。小学生の慰問や中学生の体験学習を受け入れ地域と関わりを持ち安全でゆとりした生活ができるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人の竜門堂医院から定期的に訪問診療を受けられている。体調異常時は上申して往診を受けられている。	法人の竜門堂医院から定期的に訪問診療を受けられている。体調異常時は上申して往診を受けられている。	入居時に母体の医療機関が主治医となっているケースが殆どだが、本人及び家族の意向により、他機関での受診時には職員が同行する等の支援を行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調異常時は看護職員に伝え相談し、訪問看護師に報告して入居者様が適切な看護を受けられるようにしている。	体調異常時は看護職員に伝え相談し、訪問看護師に報告して入居者様が適切な看護を受けられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	法人の病院に入院される時は情報を提供して面会時、師長や主治医に尋ねて退院状況を把握している。他の医療機関に入院された時も情報提供して、退院時には病院関係者との情報交換や相談に努めている。	法人の病院に入院される時は情報を提供して面会時、師長や主治医に尋ねて退院状況を把握している。他の医療機関に入院された時も情報提供して、退院時には病院関係者との情報交換や相談に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方については入居時にご家族に説明している。状態が悪化された時は施設長がご家族に連絡して主治医から説明されている。	重度化した場合や終末期のあり方については入居時にご家族に説明している。状態が悪化された時は施設長がご家族に連絡して主治医から説明されている。	入居時に重度化した場合や終末期の対応について家族に説明し、意向を確認している。終末期は協力医療機関へ入院することが多いが、本人及び家族の希望があれば、ホームでの看取りも可能である事を説明している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応は勉強会やその時の状況に応じた対応を話し合い、実践を身に付けている。	急変時や事故発生時の対応は勉強会やその時の状況に応じた対応を話し合い、実践を身に付けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の対策は避難訓練を定期的に行い身に付けている。地域の方や消防団員に参加頂き、施設内や利用者様の状態を説明理解して頂き協力体制を築いている。	災害時の対策は避難訓練を定期的に行い身に付けている。地域の方や消防団員に参加頂き、施設内や利用者様の状態を説明理解して頂き協力体制を築いている。	年2回、地域の消防団に参加してもらい、夜間災害を想定した避難訓練を実施し、夜勤職員も参加している。また、地域住民にも参加を呼びかけているが、参加者は少ない。	訓練時には近隣地区にも呼びかけを行い、より多くの住民参加が得られ、協力体制の構築が期待される。

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねない言葉掛け、対応に常々気をつけている。法人全体の接遇委員会が設けられているが、個々の意識づけが必要である。	一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねない言葉掛け、対応に常々気をつけている。法人全体の接遇委員会が設けられているが、個々の意識づけが必要である。	法人全体で行う接遇委員会で、プライバシーに関する事や対応について協議しており、ミーティング時に委員の職員が議事内容の報告・周知を行い、実践に努めているが、振り返りは十分とは言えない。	言葉かけ等、接遇の振り返りを行い、職員の意識を高めることが期待できる。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の希望や思いを受け入れ出来る事は支援しているが、入浴などは清潔維持の為、自己決定出来ない時もある。	入居者様の希望や思いを受け入れ出来る事は支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側のある程度の決まり事はあるが、一人ひとりのペースや意思に合わせた介護を行い、穏やかな日々を過ごされるよう支援している。	職員側のある程度の決まり事はあるが、一人ひとりのペースや意思に合わせた介護を行い、穏やかな日々を過ごされるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時にご自分で好みの洋服を選んで頂いたり、衣類の調整が出来られない方は支援している。マニキュアなど時々して喜ばれている。	入浴時にご自分で好みの洋服を選んで頂いたり、衣類の調整が出来られない方は支援している。マニキュアなど時々して喜ばれている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は入居者様が献立表でメニューを確認したり、職員が伝えて楽しみにされている。調理の下ごしらえをして頂く機会が減っている為、少しでも出来る事を一緒に行うように支援したい。	食事は入居者様が献立表でメニューを確認したり、職員が伝えて楽しみにされている。調理の下ごしらえをして頂く機会が減っている為、少しでも出来る事を一緒に行うように支援したい。	入居者との会話の中で希望を聞き、献立を作成している。出来る範囲で準備等を一緒に行い、気候の良い日はテラスで食事をする等、食事を楽しめる工夫がなされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	魚・肉・野菜などバランスを考え、個人の食事形態・量を提供している。食事摂取量は記録して、午前・午後おやつ・お茶を提供している。入浴後や水分要求時いつでも飲んで頂いている。	魚・肉・野菜などバランスを考え、個人の食事形態・量を提供している。食事摂取量は記録して、午前・午後おやつ・お茶を提供している。入浴後や水分要求時いつでも飲んで頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛けを行い、一人ひとりの状態にあった声掛けや口腔用具を使用して口腔ケアを行っている。	毎食後口腔ケアの声掛けを行い、一人ひとりの状態にあった声掛けや口腔用具を使用して口腔ケアを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの状態に合った排泄の支援を行っている。昼間は個々の排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っている。夜間はポータブルトイレ使用やオムツ着用の方の支援をしている。	一人ひとりの状態に合った排泄の支援を行っている。昼間は個々の排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っている。夜間はポータブルトイレ使用やオムツ着用の方の支援をしている。	チェック表を活用し、入居者個々の排泄状況について把握に努め、トイレでの排泄を支援している。おむつの交換も間隔を見て適宜行い、不快感を軽減できるよう努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物の工夫は行っているが、運動の量は身体の低下と共に少なくなっている。便秘の及ぼす影響は理解している為、便秘状態により主治医に相談して下剤・座薬を使用されている。	飲食物の工夫は行っているが、運動の量は身体の低下と共に少なくなっている。便秘の及ぼす影響は理解している為、便秘状態により主治医に相談して下剤・座薬を使用されている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望される時間がベストであるが、時間帯や個々の身体能力に応じて入浴日を決めている。入居者様の状況によりタイミングをみて声掛けしたり、皮膚疾患の状態で声掛けを行い、気持ちよく入浴されるように支援している。	希望される時間がベストであるが、時間帯や個々の身体能力に応じて入浴日を決めている。入居者様の状況によりタイミングをみて声掛けしたり、皮膚疾患の状態で声掛けを行い、気持ちよく入浴されるように支援している。	一般浴と機械浴があり、入居者の状態に合わせた方法で一人ずつ入浴を行っている。週3回午後からの入浴が基本だが、希望時は時間帯を変更する等、個々のペースに合わせた支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調により、居室で休んで頂いたり、個人の睡眠時間により入眠して頂いている。入眠が浅い方は主治医に報告して眠剤使用されている。	一人ひとりの体調により、居室で休んで頂いたり、個人の睡眠時間により入眠して頂いている。入眠が浅い方は主治医に報告して眠剤使用されている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方されている内服の処方薬の目的や副作用は職員に理解しておくよう伝えている。服薬介助時、誤薬しないよう配薬時は名前・日付けを声に出して行う。入居者様の症状の変化を見極め、異常時は主治医に報告している。	処方されている内服の処方薬の目的や副作用は職員に理解しておくよう伝えている。服薬介助時、誤薬しないよう配薬時は名前・日付けを声に出して行う。入居者様の症状の変化を見極め、異常時は主治医に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理の下ごしらえやお盆拭き・洗濯畳み手先の作業など手際よくして下さる。運動が得意の方はボール遊びなど元気に参加され、皆様が毎日楽しめるよう支援している。	洗濯畳みなどして下さる。運動が得意の方はボール遊びなど元気に参加されたり、基ならべなど職員と一緒にいき、皆様が毎日楽しめるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	帰宅願望時や気候のいい時は荘外散歩を行い落ち着かれる。少人数で桜の花見や個人宅のバラ園の見学に出掛けている。身体的に外出が困難な方があり、荘前の桜の花の下でお茶会を行っている。ご家族との外出は希望時に出来るよう支援している。	気候のいい時は荘外散歩を行い落ち着かれる。少人数で桜の花見や個人宅のバラ園の見学に出掛けている。身体的に外出が困難な方があり、荘前の桜の花の下でお茶会を行っている。	気候の良い日はホーム周辺の散策を行っている。入居者の希望時には家族の協力を得ながら買い物や自宅への外出を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価(東ユニット)	自己評価(西ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設長管理として必要に応じて出金している。	施設長管理として必要に応じて出金している。希望に応じてお菓子など購入して、食べる事を楽しみにされている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話して欲しいと訴えがあればご家族に電話してお話される。	電話して欲しいと訴えがあればご家族に電話してお話される。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	対面式の台所で調理中の音、美味しい匂いを感じられ出来上がりを楽しみにされている。ディルームでは冬場は暖かい日差しが入り、電車や人通り、ベランダに出れば畑の野菜、玄関には季節の花を植え季節感を感じて居心地よく過ごせるように工夫している。	対面式の台所で調理中の音、美味しい匂いを感じられ出来上がりを楽しみにされている。ディルームでは冬場は暖かい日差しが入り、電車や人通り、ベランダに出れば畑の野菜、玄関には季節の花を植え季節感を感じて居心地よく過ごせるように工夫している。	散策時に摘んできた花をホールのテーブルに飾っている。ホールや廊下の壁面には、入居者と一緒に作った創作物や家族の手作りの物を飾るなど、目で楽しめる工夫がなされている。温度管理や換気もなされており、快適に過ごすことができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーや長椅子でご自分の好きな場所や気の合った入居者様と一緒に過ごされている。	ソファーや長椅子でご自分の好きな場所や気の合った入居者様と一緒に過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	娘様手づくりの壁掛けやご家族の写真や季節毎に家族様により飾りつけをされたり、塗り絵など貼りご自分の居室とわかるようにしている。	ご家族との写真や手作りの額かざり、誕生カーを貼り、鏡・3段ケースなど置きご自分の居室とわかるようにしている。	畳を敷いたり、移動しやすいようなベッドの配置する等、入居者が過ごしやすい環境作りに努めている。写真や馴染みの物を置き、居心地良く過ごせる工夫がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口は名前を掲示して、トイレも解かるように表示している。床のバリアフリー化、廊下・浴室・トイレに手摺をつけ安全で出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室の入り口は名前を掲示して、トイレも解かるように表示している。床のバリアフリー化、廊下・浴室・トイレに手摺をつけ安全で出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している。		